

❖ 地域での取り組み紹介 ❖

滝木間地区 ～移動スーパー「とくし丸」と新たなサロンの開催～

滝木間地区は昔からの地縁血縁の強い地域で、日頃から隣近所の付き合いも密な地域ですが、高齢化の波がこの地区にも押し寄せています。道も狭く坂も急です。

そこで区長さんや民生委員さんをはじめ地区福祉委員の皆さんで協議され、移動スーパー「とくし丸」を利用してみようかということになりました。

高齢者だけでなく地域にお住いの障がいのある方や子育て世代にも便利になればいいと思います。また、地域の繋がりのひとつになることを期待します。



また、滝木間地区では新たに第4土曜の午後1時から午後3時まで「ふれあいサロン滝木間」を公民館で開いています。地域の方だけでなくハイキング途中でのトイレ休憩などでも気軽に立ち寄れるそうです。皆さん、一度行ってみてくださいね。

美田町地区 ～地域ケア会議～

美田町地区では、3年前から自治会長さん、民生委員さん、地区福祉委員長さんをはじめ地区福祉委員と地域包括支援センター、社会福祉協議会のCSW※で「地域ケア会議」を定期的に開催しています。今、自分たちが住む地域で何が起こっていて、何が必要なかを考えます。それぞれの意見を大切に、みんなで地域のことを考えます。



住民の方だけでなく、ケアマネジャーや警察など、様々な職種の方が参加されるのも特色です。

地域の方々の率直なご意見に学ぶことも多く、人の輪も広がっていきます。

※CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは、高齢・障がい・子どもの分野にこだわらず、様々な相談を受ける相談員です。制度のはざまの問題への支援も行います。四條畷市では、社会福祉協議会、市役所福祉政策課、田原支所内に配置されています。

❖ 編集後記 ❖

はじめまして、生活支援コーディネーターの橋本です。

今回、四條畷の皆さんに生活支援コーディネーターが、地域での取り組みを紹介することで、高齢者をはじめ、地域の人が安心して生活できるような地域作りをめざして、地域にたくさんの「支え合い」を作っていくとの思いで「生活支援コーディネーター通信」を発行しました。

生活支援コーディネーターの活動を通じて、地域の皆さんにも気軽に声を掛けていただけるように私達は向かっていきたいと思っています。

生活支援コーディネーター通信

2018.12 Vol.1

《発刊に寄せて》
今後、介護の必要な高齢者が増えていく中、「つながり」の重要性が叫ばれています。高齢化や核家族化により、「地域」の中での「支え合い」がより一層必要になっています。誰もが安心安全に生活できる地域をめざしてこの度、「生活支援コーディネーター通信」を発刊する運びになりました。

発行 社会福祉法人四條畷市社会福祉協議会
〒575-0043 四條畷市北出町3番1号
Tel 072-878-1210
監修 くすのき広域連合四條畷支所
(四條畷市役所高齢福祉課内)
〒575-8501 四條畷市中野本町1番1号
Tel 072-863-6600

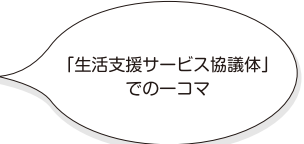
❖ 「支え合い」の輪を広げませんか？ ❖

平成28年1月に「四條畷市域生活支援サービス協議体」(以下「協議体」)が設置され、地域での支えあい体制づくりに力を入れていく「生活支援コーディネーター」が配置されています。「協議体」では、地域の課題を共有し、関係機関との連携を図りながら、四條畷市に不足している社会資源の開発を進めます。

現在、「協議体」では、高齢者の介護予防、買い物外出支援や社会参加に着目して、「市民啓発・通いの場ワーキング」と「移動外出支援ワーキング」の2つのワーキンググループを作り、それぞれの課題を各グループのメンバーで共有して、新たな支え合いの仕組みづくりを検討しています。



「市民啓発・通いの場」「移動外出支援」のワーキングの様子



❖ 私たちが生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)です ❖

誰もが、住み慣れた地域でできる限り元気に生活できるように、地域でできる支え合いを見つけて広げていく活動をしています。また、「協議体」は、生活支援コーディネーターの活動を応援する役割を担っています。

- ◆第1層(四條畷市域)生活支援コーディネーター
橋本 雅美(四條畷市社会福祉協議会)
- ◆第2層(日常生活圏域※)生活支援コーディネーター
高垣 真知子(四條畷第1地域包括支援センター)
吉井 見佳(四條畷第2地域包括支援センター)
松岡 知里(四條畷第3地域包括支援センター)



※日常生活圏域とは、おおむね中学校区程度の規模の地域のことを指します。
四條畷市では、地域包括支援センター圏域で生活支援コーディネーターを配置しています。

❖ 『通いの場資源集』の完成 ❖

高齢者の方が、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らすために、閉じこもり防止や社会参加促進を目的として 四條畷地域資源集・マップ『通いの場』情報の冊子を平成30年3月に作成しました。街かどデイハウス「さんら」や「ふれあい元気クラブ・えんじょい」、各地のふれあいサロンやカラコロ体操教室など、地域住民が主体となって、高齢者が気軽に集える生きがいつくりの場所を掲載しています。

冊子は、市役所高齢福祉課や各包括支援センター等関係機関の窓口に設置しているほか、四條畷市ホームページでもダウンロードすることができます。

『通いの場』を通じて自然とつながりが生まれ、住民どうしのふれあいを通して「生きがいつくり」「仲間づくり」の輪が広がり、いつまでも元気で生活することができます。

皆さんもお住まいの地域で通える場所を探して、ぜひ参加してみてください！



❖ 認知症カフェへ行ってみませんか？ ❖

認知症カフェとは・・・

「認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域の人など、誰もが気軽に参加できる集いの場」です。認知症の人やその家族同士が情報交換するだけでなく、医療や介護の専門職に気軽に相談することができ、地域の人との交流の場となります。

高齢化が進む現代社会において、人の繋がりは不可欠です。生活支援コーディネーターをはじめ専門職もお手伝いします。あなたもぜひ、一度遊びに行ってみませんか。

四條畷地域 認知症カフェ一覧(平成30年11月現在)

名称	開催場所・問合せ	内容	開催日時	参加費	定員
①ぶどうの木	中野本町27-2 072-876-8022	歌(音楽)と体操を主とした 脳の活性化・デュアルタスク※ で楽しい交流の場	毎週火曜 10:00~12:00	400円	15名程度
②サロンふるさと	岡山2丁目7-43 072-878-2308	介護者の交流や介護相談の場 手工芸など コミュニケーションの場	第2・4水曜 13:00~15:00	100円	15名程度
③四條畷カフェ	雁屋北町15-16 072-876-1021	介護者の交流や介護相談の場 フラダンスなど	毎月第3土曜 14:00~15:30	100円	10名程度
④オレンジカフェ たわら	上田原613 0743-70-1249	介護者の交流や介護相談の場 ミニ講座など	毎月第4木曜 13:30~15:30	無料	10名程度

※デュアルタスクとは・・・2つの課題を同時に課し、歩きながら会話をする事など

❖ あなたができる「支え合い」ありませんか？ ❖

例えば・・・

- 「子どもたちが巣立ってしまうと地域のつながりがなくなってしまった。気の合う人たちが、家に来てくれたらうれしいけど。月に1回くらいなら使っていないお部屋を開放してサロンを開いてみようかしら？お茶を飲みながら編み物をしたり、お話ししたりしてみたいわ。」
- 「定年して仕事を辞めたら、地域デビューしてみたい。今まで仕事一筋だったから、近所づきあいがあまりなくて困ってる。何かしたいけど、誰か誘ってくれないかな？」



- 「仕事でパソコンをよく使っていたから、パソコンが得意なんだ。地域の高齢者にパソコンやスマホの使い方を教えてあげられるかな？」
- 「子どもが小さいのであまりお手伝いはできないけど、小学校に行っている間は時間があるから地域の高齢者の方のお手伝いを何かできないかしら」

❖ 「絆カフェ」の様子 ❖

9月から10月の木曜日に、四條畷狂いっぶくステーション「よろか」で「絆カフェ」を開きました。自分の最期を考えることでこれからの自分の生きかたを見つめることをテーマに、毎回違った内容のミニ講座をもとに参加された皆さんで語り合いました。毎回、涙あり、笑いあり、和やかな雰囲気でのひとときでした。



❖ 募集しています ❖

地域でのいろいろな活動の情報、地域で活動してみたいと思っている方、ボランティアに興味がある方、生活支援コーディネーターと一緒に地域の支え合いについて考えてみたい方など、地域活動に興味のある方や事業所さんを募集しています。

【お問い合わせ先】

- 第1層生活支援コーディネーター 橋本 072-878-1210
- 第2層生活支援コーディネーター 高垣 072-862-3366
- 第2層生活支援コーディネーター 吉井 072-863-0170
- 第2層生活支援コーディネーター 松岡 0743-70-1249